

2025/09/24 分野抄読会

**Patient Reported Outcome を用いた予防的介入における
Minimal Important Change の算出方法の検討**

東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学専攻
医学統計学分野 修士課程 2 年 栗原愛佳

生活の質(Quality of Life : QOL)は、患者や一般の人々の主観的な健康や医療の効果に関する評価指標の一つである。このうち健康に関連するものは健康関連 QOL (health related quality of life : HRQOL)とも呼ばれる。HRQOL を評価するために、患者の視点から評価する患者報告アウトカム (Patient Reported Outcome : PRO)という概念と用語が提唱され、PRO を使用する臨床試験は増加している。しかし、介入効果が患者にとってどれほど重要かを判断するには、統計的有意性を示すだけでは不十分である。そこで、患者自身が重要と考える最小限の変化である Minimal Important Change (MIC) を算出することが重要になる。MIC の算出方法の検討は治療的介入の場合を想定しており、予防的介入において同様の考え方で算出した MIC は適切ではない可能性がある。

本抄読会では、治療的介入における主要な算出方法を紹介し、予防的介入を評価した研究のダミーデータに適用した結果と問題点、それを解消するための検討事項を発表し、議論を行った。